

要望書（回答）

1. 高齢者の健康診断・がん検診の受診率の向上について

苫小牧市で行っている高齢者の健康診断・がん検診について、年1回の受診の案内はありますが、十分な周知がなされていないと考えます。

各種検診を受診し、健康増進を図ることで、介護保険料等の削減効果もあると判断されます。

また、今年度も展開している「ふくし大作戦」が実のある事業になるのではないかと考えます。

そこで、高齢者全体に、各種受診についてさらなるPRをしていただくよう要望いたします。

【回答】（市民生活部保険年金課 担当）

国民健康保険及び後期高齢者医療による高齢者向けの健康診断では、特定健診及び健康診査とともに、胃・肺・大腸がんの検診をセットにした「タダとく健診」を無料で実施しているほか、脳ドックの費用助成を行っております。

また、後期高齢者医療ではこれに加え、歯科健診を無料で実施しております。

各種健診事業の実施にあたっては、「広報とまこまい」での周知のほか、毎年5月に全ての対象被保険者へ受診券を送付しているほか、貴連合会主催行事を活用したPR活動を展開するとともに、市民健康教室やまちかどミーティングでも周知に努めてきたところでございます。

これまでのPRの成果として、後期高齢者医療では健康診査、歯科健診ともに道内主要都市ではトップの受診率となっているほか、国保特定健診についても60歳以上の受診率は道内平均を大きく上回る状況でございます。

今後につきましても、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながらさらなる周知に努めてまいりたいと考えております。

（健康こども部健康支援課 担当）

各種がん検診の周知につきましては、国民健康保険特定健康診査及び後期高齢者医療健康診査において胃がん・肺がん・大腸がん検診とセットになって無料で受けられる「タダとく健診」として個別通知をしております。このほかにも、町内会へのリーフレット回覧や広報とまこまいなどでPRしているところです。

がん検診は早期発見し早期治療することで治る確率が高くなるため、多くの方に受診していただき健康管理に役立てていただきたいと考えておりますので、今後も引き続きさまざまな機会を利用し周知を図ってまいります。